



農林水産省の補助金等を 受給するには、環境負荷低減の クロスコンプライアンスの 実施が必要になります！

沖縄総合事務局では、令和6年7月3日に「環境負荷低減のクロスコンプライアンス等に係る説明会」を対面及びオンライン形式で開催しました。当日は、県の各関係課職員を始め、県内の25市町村やJAの担当職員等、141名が参加しました。

「7つの基本的な取組に関して、記録・保存の管理がしやすいように、専用アプリのようなものがあると良いのではないかな」など、本取組に関心を寄せる多くの意見や質問がありました。

みどりの食料システム法に基づく国の基本方針において示された
農林漁業に由来する環境負荷に
総合的に配慮するための基本的な取組

適正な施肥	適正な防除	エネルギーの節減	悪臭・害虫の発生防止
廃棄物の発生抑制 循環利用・適正処分	生物多様性への 悪影響の防止	環境関係法令の 遵守等	

7つの環境負荷低減の取組

←詳しくはこちら
(環境負荷低減の
クロスコンプライアンス
について)

(農水省 HP)



農林水産省からオンラインで説明



参加者との質疑応答の様子

説明に対する質疑や会場でのアンケートでは、「さとうきび事業に関しては、受益農家数が多いので、報告・確認の事務負担を減らして欲しい」、

お問合せ先
農林水産部 生産振興課
☎098-866-1653



「6月は食育月間」 食育パネル展を開催しました！

令和6年6月3日から7日までの5日間、沖縄総合事務局1階の行政情報プラザにおいて、食に関する関心や理解を深めてもらうきっかけになるよう、食育パネル展を開催しました。

今回のパネル展では「バランスよく食べよう」をテーマに、「バランスの良い食事をとるメリット」や「バランスの良いメニュー」などを紹介し、レシピの配布を行いました。

第4次食育推進基本計画では、国民健康づくり運動である「健康日本21」の趣旨を踏まえ、1日当たりの野菜摂取量の平均値を350グラム以上にすることを目標として設定しました。「令和元年国民健康・栄養調査」によると、1人1日当たりの野菜類摂取量の平均値は280.5グラムとなっています。日頃の食生活

3 バランスよく
食べよう

12 食育を
推進しよう

食育ピクトグラム
(食育に関する取組を分かりやすく
抽象化したもの)

SHOKUJIKU
JAPAN
食育マーク



ベジチェック測定中!!



多くの方に、パネル展を見ていただきました！

お問合せ先
農林水産部 食料産業課
☎098-866-1673

において、自分自身が摂取している野菜の量や不足している野菜の量を正しく把握できていないことが理由の一つと考えられます。

また、4日には、明治安田生命保険(相)様にご協力いただき、日頃の野菜摂取状況が把握できる測定機器(ベジチェック)を設置しました。100名以上の来場者の方が測定に参加し、自身の推定野菜摂取量の見える化を体験しました(来場者の方の推定野菜摂取量の平均は、290グラムでした)。